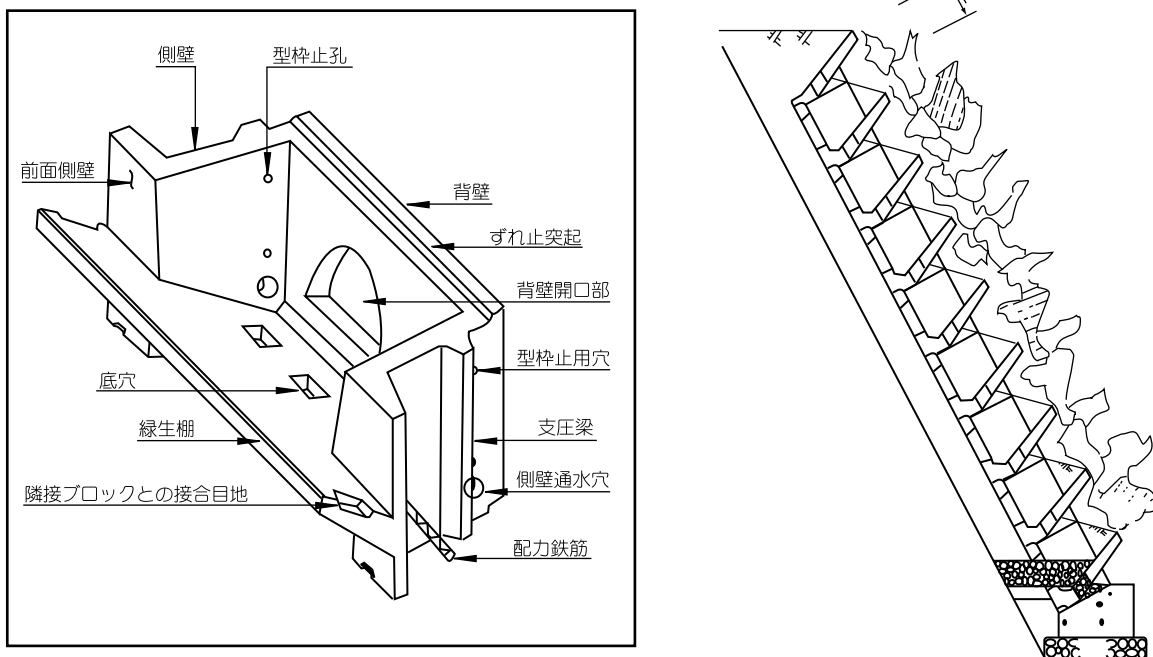


■特 長

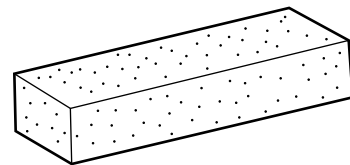
1. 法面の緑生と土留工を兼ねた積ブロック工法です。
2. この工法は練積(空積)で、その擁壁をさらに高くしたい場合は、胴込コンクリートに鉄筋を入れますと、鉄筋コンクリート擁壁となり高擁壁にも使用出来ます。
3. この緑生ブロック工法は、擁壁高の高い岩盤の緑化にも使用出来ます。
4. 本擁壁の勾配は3分～1割程度でも可能ですが理想的には3分～5分勾配が適します。
5. 裏込栗石が必要でないで、ブロック内の土砂が雨により裏込栗石内に流出してしまう空洞化現象も皆無のため、植樹の生育不良や枯れるという事はありません。

緑生ブロック各部名称



L Gグリーン〔緑化ベース〕

1. 保水性が高く、追肥のいらぬ完全肥料自給システムです。
2. 使用ヶ所は、緑化困難地、法枠内緑化岩盤緑化、土留修景緑地等です。



| 呼 名 | 規 格 寸 法 (mm) | | | 参考重量 (kg) | 単 価 (円) |
|------------|--------------|-------|-------|-----------|---------|
| | 底幅(H) | 厚さ(T) | 長さ(L) | | |
| L-Gグリーン301 | 100 | 100 | 300 | 1.6 | 別途価格 |
| L-Gグリーン202 | 200 | 100 | 300 | 2.1 | |